

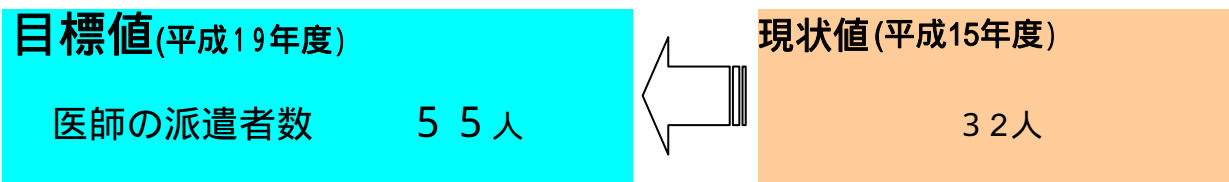
施策 (- 4 - 2) 優れた医療従事者の確保

優先施策16

目的

医師、歯科医師、看護職員、薬剤師、理学療法士、作業療法士等の医療従事者の確保を図ります。

成果指標と目標値



地域の医療拠点となる病院や診療所等へ派遣する医師の人数で、総合的な医師確保施策を展開し、必要な診療科の医師数の確保をめざします。

現状と課題

本県は、広範な中山間地域や離島を有することから、従事医師数の地域的な偏在が著しく、特に雲南、大田、隠岐の各圏域では、人口10万人あたりの従事者数が全国平均を大きく下回っています。

初期医療を担う診療所の医師の約25%が70歳以上を占めるなど医師の高齢化は確実に進行しており、特に中山間地域では後継者不足により診療の継続が危ぶまれています。このため、毎年「地域医療支援会議」において、自治体や自治体病院等から派遣要請のある医師数をとりまとめ、総合的な手法による医師確保対策に努めています。

看護職員のうち、助産師の県内の人口10万人あたりの従事者数は27.2人(全国19.1人)、看護師については742.3人(全国552.4人)と、全国平均を大きく上回っていますが、助産師については大田・浜田の両圏域で、看護師については雲南・大田・隠岐の各圏域で全国平均を大きく下回るなど、地域的な偏りがみられます。

理学療法士、作業療法士などについては、高齢化や少子化の進展などによる疾病構造の変化、医療の高度化・多様化に対応できる人材の確保や資質の向上が引き続き必要です。

地域医療支援会議：県内の中山間地、離島等のへき地医療対策を総合的・体系的に推進することを目的とした会議で県、市町村、島根大学、県医師会、県歯科医師会、県看護協会、地域医療拠点病院等で組織

【人口10万人あたりの従事医師数】					
松江	223.9人	大田	176.3人	隠岐	173.4人
雲南	157.4人	浜田	214.4人	島根県	244.5人
出雲	374.0人	益田	217.1人	全国	206.1人

目的を達成するための主な基本事務事業

主な事務事業

事業名	概要
<p>へき地等の医療を確保する対策</p> <p>〔担当課〕医療対策課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>「しまね地域医療支援センター」を設置し、安定的な医師の確保を図ります。また、へき地における勤務医師を養成・確保し、医療機関の活動を支援します。</p> <p>しまね地域医療支援センター（図1参照） 研修医等定着特別対策事業</p>
<p>看護師等保健医療従事者の確保</p> <p>〔担当課〕医療対策課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>県内で医療提供体制の核となる医療従事者を養成し、確保・支援に努めます。</p> <p>看護職員就業者確保事業 県立高等看護学院運営事業</p>
<p>医療関係職種免許・資格等事務</p> <p>〔担当課〕医療対策課</p> <p>【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等</p>	<p>資格職である医療従事者が、関係法規を遵守し、必要な手続きをおこなうことにより、医療が適正に提供される体制の確保に努めます。</p> <p>医療従事者の免許・資格事務 試験事務</p>

図表1 しまね地域医療支援センター』設置事業

—大規模病院連携による専門医確保策（島根方式）—

